

芙蓉校4年生、13名大奮闘!!

「福祉用具疑似」体験及び「車椅子」体験会

令和7年2月17日(月)(於)芙蓉校体育館

■社会教育の一貫として「福祉用具疑似」体験及び車椅子体験会を、芙蓉校4年生13名(1名欠席)を対象に、民児協・校区社協合同で実施しました。

■子どもたちは、肘・膝・肩から胸にサポータ、手袋、耳栓そしてゴーグルを装着。更には手首・足首に重量物を取付けて「悪戦苦闘」。高齢者や障がい者の方が、日常生活の中でどのような不自由さを感じて生活されているかを体感し、その経験を今後の社会生活の中で活かし、心優しい気配りのできる大人に成長してもらいたいと思います。



●装着完了

●つかみにくさ

●読みにくさ

●動きにくさ

●書きにくさ

▲疑似体験用「福祉用具」を装着し、いろいろなことに挑戦



●種類及び取扱説明

●お好みの車椅子で試乗
▲車椅子も体験

●段差での取扱い

『まちかど防犯講座』and『津軽三味線演奏会』
「梅見の会(お一人暮らし高齢者会食会)」

令和7年2月18日(火)

■暦の上では立春をすぎましたが、まだまだ寒い日が続く中、19名のお一人暮らし高齢者に参加頂きました。

■午前中、ここ数ヶ月の間に蓮池町内で2件の空き巣狙い・不審者侵入事件が発生したことを受け、出前講座「まちかど防犯講座」をお願いし「ひとりで出来る防犯対策」や「地域で出来る防犯活動」についてお話を聞き、とにかく「鍵」をかけることを肝に銘じました。

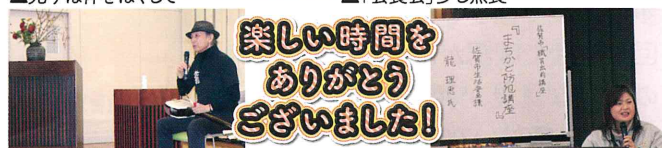
■午後からは、日本民謡津軽三味線清水流名取「清水英龍先生」による津軽三味線演奏会。「津軽あいや節」「津軽じょんがら節」など7曲を演奏して頂きました。耳に心地よい音色とビート感に目を閉じて聞き入る人、演奏技術に見入るなど思い思いに音楽を楽しむことが出来ました。

『梅見ランチ』美味しかったです!!



▲まずは体をほぐして

▲「会食会」少し黙食

楽しい時間を
ありがとうございました!

▲楽器のしくみや素材のトーク

▲まちかど防犯講座
「とにかく鍵をかける習慣を」

▲今年の「梅見ランチ」

▲「無法松の一生・花街の母」等
歌謡曲も飛び出しました

▲会場に梅と椿の花

今後の行事予定

- 6月12日～7月10日(都合5回)
福祉協力員連絡会(座談会)
- 6月25日(水)
お一人暮らし高齢者ふれあい会食会
「菖蒲見の会」
- 7月1日(火)
福祉用具疑似体験会(小学4年生対象)
- 7月24日(木)
校区社協役員研修
(佐賀整肢学園・向陽園、戸上電機)

- 9月9日(火)
車椅子体験会(小学4年生対象)
- 10月1日(火)
赤い羽根共同募金街頭募金活動
(モラージュ佐賀)
- 10月23日(木)
お一人暮らし高齢者バスハイク
- 11月13日(木)
福祉協力員研修会(1回目)
- 12月21日(日)
しめ縄をつくろう 第16回「子ども冬まつり」



編集後記

■介護を受けたり寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間を示す「健康寿命」が佐賀県は男性が72.57歳、女性75.45歳と公表され、3年前の調査からほぼ横ばいで、コロナ感染症で「平均寿命」が短くなった事がその要因だとか。(2022厚生省)

■そんな中、ある方からこんな話を聞きました。体調を崩し入院したり、ケアハウスにも入所していた86歳の女性が、ある日「自宅に帰ってきた」とのメール。この年齢だとほとんどが自宅に戻る人は少なく「お年寄りの鏡」と褒めた。本人曰く『美味しい料理を食べたいから頑張った』と。

■年を重ねても目標があれば元気になれる「証」だと感じました。皆さん、目標を持って100歳を目指しましょう!!(記:糸山、大塚)

HASUIKE SHAKYO

蓮池校区 社協だより

■責任者 糸山 守 ■事務局 蓮池公民館内 佐賀市蓮池町6-49 TEL 0952-97-0070

6.10

2025 No.28

(令和7)
蓮池校区
社会福祉協議会

《館長寄稿》～ 公民館が『果たす役割・担う役割』～

日頃より公民館事業にご支援・ご協力いただき、また主催講座等にご参加いただいておりますこと、心より感謝申し上げます。私事ではございますが、昨年4月より公民館館長として勤務し、日々多くの出会いや発見をさせていただいております。

蓮池町は、江戸時代には蓮池藩として栄え、今もなおその歴史と文化が数多く残る町です。初代藩主「鍋島直澄」をはじめとする歴代藩主や、煎茶を広めた「売茶翁」そして江崎グリコ創業者の「江崎利一氏」など、多くの偉人を輩出してきました。

一方で、近年は人口減少や少子高齢化が進む中、「社会的つながりの希薄化」「高齢者の移動手段の確保」「活動団体の担い手不足」「空き家問題」など、様々な課題を抱えている現状です。今こそ、**公民館が果たす役割**がますます大きくなっていると感じます。

町民の皆様が気軽に立ち寄り、自由に利用できる場所であり、サークル活動や交流の場、さらには歴史講座などを通じて学びを深められる『地域の拠点』でなければなりません。蓮池町を、元気で活気ある街にしていけるため、まちづくり協議会をはじめ、社会福祉協議会、自治会、スポーツ協会など多くの団体が様々な活動を展開されております。公民館はこれらの活動を全面的に支援し、且つ協力・連携し、地域課題の解決に取り組むことが公民館が担う役割と強く考えます。

町民の皆様、公民館へ積極的に足を運び「知恵とパワー」与えて下さい。

蓮池公民館 館長
酒見 幸治『ボランティアはすいけ』スタッフ大募集中!!
令和6年度 ボランティアはすいけ例会

令和7年3月31日(月)

■「ボランティアはすいけ」は幅広い福祉活動の中で、自分たちの身の丈に合った無理のない範囲で活動している団体です。会員数は現状、十数名です。

【主な活動内容は】①児童・生徒の登校時見守り活動 ②校区社協と連携し、会食会等の食事づくり ③町内他団体からの要請による食事づくり等をおこなっております。

近年、諸事情によりスタッフ数が減少しております。皆様の参加をお待ちしております。

【申込先】

- 豊田 秀代(97-0201)または
- 糸山 守(97-0186)へお願いします。

皆様のご参加を
お待ちしております!

▲「ボランティアはすいけ」スタッフ



▲年一回「例会」にて活動実績を確認

寄付御礼

- 豊田 秀代様(城原町) (故 陽喜様)
- 早田 真由美様(本町) (故 昭彦様)



上記の方より追善供養として頂きました。校区の福祉活動に役立たせていただきました。ここに謹んで厚くお礼申し上げますと共に、故人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

福祉協力員連絡会（座談会） 向こう三軒両隣の『助け合い』!!

令和6年6月6日(木)～令和6年7月4日(木)

■昨年度に引き続き、令和6年度も民生委員担当町区の5グループにて座談会形式による福祉協力員連絡会議を開催。各町区における「見守り対象者」について、関係者間の情報共有ができました。日頃の見守り活動や災害時の避難支援に役立てばと思います。

【福祉協力員制度における「見守り対象者」とは】

- ・お一人暮らし高齢者
- ・見守りが必要と思われる高齢者
- ・障がい者
- ・子育て世帯



■西名公民館(令和6年6月6日(木)出席者:15名)



■城内会館(令和6年6月13日(木)出席者:14名)



■小松公民館(令和6年6月27日(木)出席者:18名)



■蒲西公民館(令和6年7月4日(木)出席者:14名)



～不思議なシャボン玉を作りました～「菖蒲見の会(会食会)」

令和6年6月25日(火)

■平年より13日遅く6月17日に梅雨入りした佐賀地方。雨の降り方が気になりましたが、時折小雨がパラつくなか17名の参加を得て「菖蒲見の会(会食会)」を開催。

■今回の出し物は、シャボン玉ではないのに手のひらで回すとシャボン玉に見える「不思議な物」を悪戦苦闘しながら作りました。メインの会食会では手作り「菖蒲ランチ」をいただき、午後はこの春蓮池駐在所に赴任された岩本恵一さまより町内の交通事情や横行する「詐欺」の実態について、映像を交えながらお話して頂きました。

■お一人暮らし高齢者の皆さん同士、久しぶりの再開に会話も弾み、楽しく食事をしてひと時を過ごすことが出来ました。この集まりが日々健康で元氣な生活を送る一助になれば幸いです。



▲黙食半分・会話半分やっぱ食事が一番



▲手作りランチ



▲蓮池駐在所よりくれぐれも「詐欺」に遭わないように



▲「悪戦苦闘!!」眼が見えない



▲何とか「シャボン玉」の形が見えてきました

「役員視察研修」～福祉用具を見て!触れて!体験しました～『佐賀県在宅生活サポートセンター』へ

令和6年7月23日(火)

■介護の基本的な知識や技術を学び、地域福祉への活動に活かすとともに、校区社協役員自身の介護予防・健康・生きがいづくりに役立てる目的で、今年度役員研修は「佐賀県在宅生活サポートセンター」におじゃまし、とにかく「見て」「触れて」大いに体験することができました。今回の研修を地域の見守り活動など、機会あるたびに情報提供できればと思います。

■帰路には佐賀新聞社内見学を実施。会社案内ビデオ鑑賞や輪転機見学、佐賀新聞電子版の説明などを通して、新聞社の仕事を知ることができました。



▲ポータブルトイレの使い方体験(排泄後処理含)



▲押し車よりも安定した歩行が可能な歩行器体験



▲見て・触れて車椅子の品定め



▲スライディングシートを使用した移動体験



▲階段昇降機体験



▲体験研修、お疲れ様でした

お一人暮らし高齢者バスハイク ～300年の歴史ある『名尾手すき和紙工房』見学～

令和6年10月23日(水)

■令和6年、佐賀の地で開催された国スポにご臨席された、天皇皇后両陛下の長女愛子さまも立ち寄られた、佐賀市大和町の『名尾手すき和紙工房』を見学しました。

■和紙の原材料となる「梶の木」の栽培から製品となるまで全ての工程について説明を受け、たくさんの質問が飛び出しました。又、併設されている直営店「KAGOYA」の展示場では「障子・提灯・便箋・名刺・扇子・卒業証書」など数々の製品に生まれ変わる「和紙」の展示品を手に取り、気に入った品物を購入した人もおいででした。室内の壁を和紙で仕上げた部屋での記念撮影は、和紙の持つ独特の灯りで何とも言えない雰囲気の撮影が出来ました。

■午後に立ち寄った『北山フォレストラボ』では、童心に返りクラフト体験を楽しみ素敵な「お土産」となりました。



▲和紙が出来るまでの工程を説明頂きました



▲何とも言えない「灯り」の部屋で



▲童心に返り「クラフト体験」



▲オリジナルの「お土産」出来上がり

「福祉協力員」研修会 ～『福祉協力員活動をより効果あるものに』～

令和6年11月14日(木)

■制度発足以来、8年目を迎えた『福祉協力員』制度のもと、現在、蓮池校区では27名の福祉協力員さんにより、「遠目での見守り」活動を展開しております。

■研修会ではグループワークを行い、現状での活動を振り返る中で「散歩の途中で様子を見ている」「月1回の常会で確認が出来ている」等の貴重な意見が発表されました。

「変化に気付いたら自治会長や民生委員につなぐ」と言う福祉協力員としての役割を、再認識することが出来ました。



▲【全体】担当民生委員をリーダーにグループワーク



▲【Aグループ】西名・魚町・本町



▲【Bグループ】城内・城原町・神埼町



▲講師(市社協・おたっしヤ本舗)



▲【Cグループ】紺屋町北名大橋



▲【Dグループ】中地・見島・小松・古賀・古賀団地



▲【Eグループ】牛津ヶ里・蒲西・鎌東・堂地

第12回 ～蓮池子ども冬まつり～ もうすぐお正月「鼓の胴の松飾り」をつくろう!!

令和6年12月22日(日)

■地元保存会の全面的な協力を得て～蓮池子ども冬まつり～もうすぐお正月「鼓の胴の松飾りをつくろう!!」を実施しました。インフルエンザ流行期と重なり、急遽欠席者がでるハプニングもありましたが、町内の子ども・親子そして芙蓉校の先生方含め、20組約50名の参加があり自前のしめ飾りを完成させました。



▲「親子で」「友達同士で」それぞれ協力して「しめ縄」作り挑戦



■全国でも珍しいとされる蓮池藩の伝統ある「鼓の胴の松飾り」を玄関に飾り、令和7年の新しい年を迎える準備が出来ました。令和7年が皆さまにとってどうか良い年でありますよう祈念します。

楽しかったです!



▲自作のしめ飾りを手に記念撮影



▲会食会の「豚汁・おにぎり」美味しかった